

「秋の乗り放題パス」及び 「秋の乗り放題パス北海道新幹線オプション券」の発売について

2023年8月29日
JRグループ

JRグループでは、10月14日の「鉄道の日」に合わせて、普通列車の旅を満喫していただくため、2023年度も「秋の乗り放題パス」を発売します。また、本州と北海道とのご旅行をお楽しみいただける「秋の乗り放題パス北海道新幹線オプション券」を合わせて発売します。

○「秋の乗り放題パス」について

日本全国の旅客会社鉄道線（JR線）の普通・快速列車の普通車自由席及びBRT（バス高速輸送システム）並びにJR西日本宮島フェリーが連続する3日、自由に乗り降りできるきっぷです。

1 発売期間とご利用期間

発売期間：2023年9月16日（土）～2023年10月20日（金）
ご利用期間：2023年10月7日（土）～2023年10月22日（日）
※2023年10月20日ご利用開始分まで発売します。

2 有効期間

ご利用期間のうち、連続する3日

3 おねだん

おとな 7,850円 こども 3,920円

4 発売箇所

全国のJRの主な駅、JRの旅行センター及び主な旅行会社

5 宣伝展開

「秋の乗り放題パス」ポスターを全国のJRの主な駅に掲出します。

ポスターデザイン：

「北海道・道南エリアのシンボルである
駒ヶ岳をバックに海、山、緑が見える雄大な景色の
「落部（おとしべ）～野田生（のだおい）」間」



※ポスターイメージ

【ご利用にあたっての注意点等】

1 ご利用方法

「秋の乗り放題パス」1枚を1人で、連続する3日ご利用いただけます（※1枚を複数人でご利用いただくことや、おとな用を購入してこども2人でご利用いただくことはできません。）。

2 きっぷの内容

(1) 全国のJR線の普通・快速列車の普通車自由席及びBRT（バス高速輸送システム）※1並びにJR西日本宮島フェリーが乗り降り自由です。

※1 気仙沼線BRT（「柳津～気仙沼」間）、大船渡線BRT（「気仙沼～盛」間）の他、JR九州バスの日田彦山線BRT（「添田～日田」間）がご利用になれます。

(2) JR線（BRT含む）及びJR西日本宮島フェリー※2以外の路線は、ご利用になれません（道南いさりび鉄道線、青い森鉄道線※3、いわて銀河鉄道線、三陸鉄道線、北越急行線、しなの鉄道線、えちごトキめき鉄道線、あいの風とやま鉄道線※4、IRいしかわ鉄道線※5、伊勢鉄道線、京都丹後鉄道線、智頭急行線、土佐くろしお鉄道線及び肥薩おれんじ鉄道線等の他、JR線と直通運転をしている路線並びにJRバス〈日田彦山線BRTは除く〉もご利用になれません）。別途、ご利用になる区間に有効な乗車券類が必要です。

※2 別途現地にて宮島訪問税(100円)の支払いが必要となります。

※3 青い森鉄道線の「青森～八戸」間・「青森～野辺地」間・「八戸～野辺地」間については、普通・快速列車の普通車自由席に乗り込んでJR線へ通過利用する場合に限り、ご利用になれます。青森駅、野辺地駅、八戸駅に限り下車できますが、以上の3区間以外の区間を乗車した場合（区間内での下車、区間を越えた乗車等）は、別に全乗車区間の運賃が必要です。

※4 あいの風とやま鉄道線の「高岡～富山」間については、普通列車の普通車自由席に乗り込んでJR線へ通過利用する場合に限り、ご利用になれます（乗車整理券・ライナー券が必要な列車をご利用になる場合、別に乗車整理券・ライナー券が必要です）。高岡駅、富山駅に限り下車できますが、「高岡～富山」間以外の区間を乗車した場合（区間内での下車、区間を越えた乗車等）は、別に全乗車区間の運賃が必要です。

※5 IRいしかわ鉄道線の「金沢～津幡」間については、普通列車の普通車自由席に乗り込んでJR線へ通過利用する場合に限り、ご利用になれます。金沢駅、津幡駅に限り下車できますが、「金沢～津幡」間以外の区間を乗車した場合（区間内での下車、区間を越えた乗車等）は、別に全乗車区間の運賃が必要です。

(3) 奥羽本線の「新青森～青森」間※6及び石勝線の「新得～新夕張」間は、特例として当該区間内相互発着の場合に限り、「秋の乗り放題パス」のみで特急・急行列車の普通車自由席にご乗車になれます。ただし、特例区間外にまたがってご利用になる場合は、当該特急・急行列車乗車全区間の乗車券及び特急券または急行券が必要です。また、佐世保線の「早岐～佐世保」間及び宮崎空港線の「宮崎～宮崎空港」間に限り、特急列車の普通車自由席にご乗車になれます。

※6 「新青森～青森」間相互発着に限り全車指定席の普通・快速列車の普通車の空いている席も利用できます。

(4) 特急（新幹線を含む）・急行列車・グリーン車等に乗り込む場合は特急券・急行券・グリーン券等のほか、別に乗車券が必要です。ただし、普通・快速列車のグリーン車自由席に限り、グリーン券を別にお求めになればご乗車になれます。

(5) 普通・快速列車の普通車指定席をご利用になる場合は別に座席指定券が、乗車整理料金やライナー券が必要な列車をご利用になる場合は別に料金が必要です。

なお、快速「マリンライナー」等のグリーン車指定席をご利用の場合は、乗車券及びグリーン券が必要となります。

(6) 有効期間は使用開始日から3日間です（例：10月14日から10月16日まで有効です。）。

(7) 有効期間の最終日の乗車が翌日にまたがる場合は、乗車した列車が0時を過ぎて最初に停車する駅まで有効です。ただし、東京・大阪の電車特定区間^{※7}内については、終電車までご利用になれます。

※7 電車特定区間の詳細については、「JR時刻表」にてお確かめください。

(8) 各種割引による割引はいたしません。

(9) 列車の運休や遅れによる払いもどしはいたしません。払いもどしは未使用で有効期間開始日前または有効期間内に限ります（手数料が必要です。）。

(10) きっぷを紛失された場合、あらためてきっぷをお買い求めください。なくされたきっぷが発見された場合でも、きっぷの払いもどしはいたしません。

※ 災害や工事等の影響により運転見合わせ、時刻変更となっている区間・列車がありません。最新の情報は各社のホームページをご参照ください。

3 特典

「秋の乗り放題パス」のご利用日にJRホテルグループの加盟ホテルに宿泊の場合、宿泊料金の割引等の特典が受けられます（一部を除く）。お客さまご自身で以下の連絡先に予めお申込みのうえ、チェックイン時に「秋の乗り放題パス」をご提示ください。

連絡先：JRホテルグループ東京予約センター

TEL：03-5391-6916 平日9:30~17:00

※土休日は休業

○「秋の乗り放題パス北海道新幹線オプション券」について

「秋の乗り放題パス」と組み合わせてご利用いただくことで、本州と北海道とのご旅行をお楽しみいただける「秋の乗り放題パス北海道新幹線オプション券」を発売します。

発売期間は、「秋の乗り放題パス」ご利用期間の最終日までといたします。これにより本州と北海道とのご旅行がより便利になります。「秋の乗り放題パス北海道新幹線オプション券」で北海道新幹線と道南のローカル線「道南いさりび鉄道」の旅を、どうぞお楽しみください。

1 発売期間とご利用期間

発 売 期 間：2023年 9月 16日（土）～ 2023年 10月 22日（日）

ご 利 用 期 間：2023年 10月 7日（土）～ 2023年 10月 22日（日）

※「秋の乗り放題パス」と同一のご利用期間です。

2 おねだん

おとな 2,490円 こども 1,240円

※ご利用には、このほかに、有効な「秋の乗り放題パス」が必要です。

3 発売箇所

全国のJRの主な駅、JRの旅行センター及び主な旅行会社

4 ご利用方法

「秋の乗り放題パス北海道新幹線オプション券」1枚で1人片道1回、乗車日当日限りご利用いただけます（おとな用1枚をこども2人でご利用いただくことはできません）。

本券をご利用の際は、有効な「秋の乗り放題パス」を併用することが必要です（本券は自動改札機をご利用いただけません。ご利用の際には、係員のいる改札にて「秋の乗り放題パス」も一緒にご提示ください。「秋の乗り放題パス北海道新幹線オプション券」のみではご利用になれません）。

5 きっぷの内容

(1) 北海道新幹線「奥津軽いまべつ～木古内」間の普通車の空いている席、および道南いさりび鉄道線「木古内～五稜郭」間の普通列車を連続して利用する場合に限り、片道1回ご利用になれます。

なお、北海道新幹線奥津軽いまべつ駅とJR在来線の乗換駅は津軽線津軽二股駅となります。

(2) 道南いさりび鉄道線の各駅で下車した場合は、道南いさりび鉄道線乗車全区間の運賃が別に必要になります（ただし木古内、五稜郭では下車可能です）。

北海道新幹線奥津軽いまべつ～木古内間以外の区間にまたがって、新幹線に乗車する場合は、新幹線乗車全区間の運賃及び料金が別が必要です。

※ 同一列車での乗車のほか、別の列車へ改札内で乗り継ぎすることによって、区間をまたがって乗車する場合も、新幹線乗車全区間の運賃及び料金が別が必要です。

北海道新幹線区間において、普通車指定席（指定席の交付）、グリーン車指定席、グランクラスをご利用になる場合は、乗車区間の特急料金、グリーン料金等のほか、運賃が必要です。

(3) 各種割引による割引はいたしません。

(4) 払いもどしは未使用で有効期間開始日前または有効期間内に限ります（手数料が必要です）。

(5) きっぷを紛失された場合、あらためてきっぷをお買い求めください。なくされたきっぷが発見された場合でも、きっぷの払いもどしはいたしません。